



同窓会報



こども文化学科



福祉文化学科



国際コミュニケーション学科



大学院



経法商学科

希望や不安を胸に大学を卒業し、新たな世界に挑む皆さんは、これからの社会の未来そのものです。皆さんの行動が社会をつくり、未来を変えていくからです。時間はあつという間です。大学の4年間がそうであつたように、卒業して5年もすれば、皆さんは、その社会における立派なプロになるのは間違いありません。

沖縄大学同窓会長として、また皆さんと同じように母校を卒業した先輩の一人として、本日は二つのメッセージをお送りします。一つ目は、「プロの条件」についてです。

「近い人の言葉は届かない」ことが多くあります。実は、親や友人のほうが貴方のことをよく理解した上で適格に発している言葉もあるのですが、気持ちよくそれを受け入れられな

「言葉の持つつかい」は「言葉の持つつかい」な特徴があります。私たちが使う言葉にはやっかいな特徴があります。「言葉は何を話すか？」ではなく、「誰が話すか？」に重きが置かれます。

「相手の苦しみに、自分の心も痛くなるという意味」という、沖縄の心、「共感する力」を持ち、どうしたらより良い世界を築けるのか、常に考え続ける存在であつてほしいと願つていま

戦争は全ての若者の未来を奪う愚かな行為です。この緊迫した時に卒業を迎える皆さんは、今回のウクライナでの戦争を、決して対岸の火事だと捉えることなく、同じ年代の若者や、その友人、家族が、今この時にも理不尽にも命を奪われていることに、ウチナーグチで言う「チムグリサン」(相手の苦しみに、自分の心も痛くなるという意味)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今年度も立派な卒業生を社会に送り出させていただきました先生方、大学関係者の尽力と、今日に至るまで、ご子息ご息女を支えてこられたご家族の皆様にご心からお祝いを申し上げます。

もう一つのメッセージは「言葉の持つつかい」な特徴についてです。私たちが使う言葉にはやっかいな特徴があります。「言葉は何を話すか？」ではなく、「誰が話すか？」に重きが置かれます。

戦争は全ての若者の未来を奪う愚かな行為です。この緊迫した時に卒業を迎える皆さんは、今回のウクライナでの戦争を、決して対岸の火事だと捉えることなく、同じ年代の若者や、その友人、家族が、今この時にも理不尽にも命を奪われていることに、ウチナーグチで言う「チムグリサン」(相手の苦しみに、自分の心も痛くなるという意味)



沖縄大学同窓会
会長 棚原 勝也

沖縄大学卒業式・修了式式典 同窓会長祝辞

これから始まる新しい場所でのあゆみの中で、どうか情性に流されず、近い人の言葉に耳を傾けながら、多くの失敗を経験に変えて、立派なプロになって下さいますよう先輩としてエールを送ります。

さて、世界を揺るがす衝撃的な出来事が起きました。ロシアによるウクライナへの侵略戦争です。戦争という最も愚かな行為によって問題を解決しようとする蛮行を、世界は決して許してはいけません。

資格試験合格者表彰

同窓会は3月4日(金)、在学生に対する「資格取得支援事業」として、「宅地建物取引士資格試験」及び「行政書士試験」の合格者4人に対し、表彰状と報奨金を贈呈しました。

授与式には棚原会長や副会長はじめ、盛口満学長、島袋隆志学生部長が参加。宅地建物取引士合格者は宮里日向(経法商学科2



年次)、山城千紘(経法商学科2年次)、村上洸太郎(経法商学科3年次)。行政書士試験合格者は山川竜(経法商学科4年次)。合格した学生らは「難しい試験だった」と振り返りながら、さらなる目標へ向け決意を述べました。同窓会の支援がいかにか重要か改めて感じました。

奨学生証書授与式

同窓会は3月24日(木)、2021年度 奨学生証書授与式を開催し4人に奨学金を授与。これは同窓会が学生を支援する給付型のもので、授与されたのは新田和馬さん(沖縄大学大学院)、福里星歌さん(立教大学大学院科)、吉田光さん(吉林大学大学院)、久高優菜さん(東京学芸大学大学院)。

式には新田さん、福里さんが出席。大学側から盛口満学長、島袋隆志学生部長、奨学生を推薦した中山健二郎、前田舟子の両先生が参列しました。棚原会長は「平和な沖縄の地にあつて次の目標を目指す事に感謝しながら頑張る事を期待。」と期待。

盛口学長からは研究道に進む者への心づもりと、温かい励ましの言葉が送られた。これに対し福里星歌さんは「大学院では障がい者スポーツ研究に取り組み、施設の運営や教員など、今後の目標を決めていきたい」。新田和馬さんは「琉球史を研究し、未開の分野である泊村の調査を進めていきたい」と抱負を述べました。



卒業式・修了式

2021年度沖縄大学卒業式、大学院修了式が3月11日(金)、挙行され、21年度は大学卒業生357名、大学院修了生3名の合計360名が新たな門出をしました。今年も昨年同様新型コロナウイルス感染症防止のため、学科ごとに会場

を分けて行い、卒業生・修了生、本学の関係者のみの参列としました。

式典終了後は、各学科での卒業証書授与式が行われ、福祉文化学科では教員作成の思い出ビデオの上映などもあり、大学生生活を振り返りました。式終了後、学内の中庭では恩師との別れを惜しむ学生の姿や、大学で出会った仲間と記念写真に収まるようすがあちこちで見られました。なお式典の様子はYouTubeや学内会場へライブ配信しました。



入学式

沖縄大学は4月1日、2022年度入学式を挙行。編入学と大学院の合計673人の新入生を大学に迎えました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため学科ごとに会場を分けました。オンライン配信での開催となりました。

式では山代寛学長が、地域に支えられてきた大学の歴史について触れ、新型コロナウイルス感染症の影響等による不確実な未来に耐える力を養いつつ、入学生ひとりひとりの物語を紡いでいってほしい、とエールが送られました。

また、今年度の入学生には在学生や卒業生、教職員からのメッセージカードと焼き菓子が贈られました。これはコロナ禍で思うような高校生活が送れなかったであろう入学生たちへ、沖縄大学ボランティアサポーター「トサークル」が企画したものです。厳しい状況のなかでも夢を抱き、その夢の一步に沖縄大学での生活を選んで挑戦してもらえたことに「沖縄大学へ

ようこそ!」という思いが込められています。

お菓子は管理栄養学科3年次の実習内で学生が考案したレシピをアレンジして製品化しました。この入学式だけのために作成されたカードや、世界でここのでしか味わえないお菓子を手にした新入生の一人は「大学生活が楽しみにになりました。メッセージカードを贈ってくれた先輩たちとも交流して、仲良くなれたらいいなと思っています」と話しました。4月8日からは講義がスタートし、本格的な大学生活が始まりました。



学長就任にあたって



学長 山口 寛

2022年4月1日付で盛口満先生の後任として第25代学長に就任いたしました。本学は「教育の機会均等」という理念と、「沖繩のために」という想いのもとに嘉数昇氏によって創設された沖繩で最も歴史のある私立大学です。50年前の沖繩の日本「復帰」に際しては、政府の私

立大学統合の方針に従おうとはせず、多くの県民の支持を得て自主存続を果たしました。その後も大学再建に向けた苦難の道を歩みながら地域に慕われる大学として成長してきた、日本の大学の中でも稀有な、誇るべき物語をもっています。その物語のそれぞれの場面で主人公であり本学を支え

てくださった同窓の皆様を大切にしたいと強く思っています。そして「地域と共に生きる大学」から、「地域とともに時代を創る大学」へと歩みを進め、「地域共創、未来共創の大学へ」という創立50年を期に策定された理念のもとに、沖繩を理解し、沖繩のために活躍する卒業生を数多く輩出し、個性ある沖繩大学をさらに発展させるよう邁進する所存です。同窓の皆様には、引き続き変わらぬご支援、ご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学長退任にあたって



前学長 盛口 満

2019年4月に学長を拝命し、3年間の任期を経て、この3月に退任し、現在は人文学部こども文化学科の教員として、学生指導や授業を中心とした日々を送っています。在任中は同窓会の方々にさまざまなお力添えをいただきました。この場を借りて、あらためて感謝の意をささげます。この3年間は、なんと

いつてもコロナの対応にふりまわされた日々でした。予想外の出来事に対して、私自身がうまく立ち回ることができたのか、また総括ができていせんが、沖繩大学という組織自体は、かなりきちんとした危機対応をしてきたのではないかと思います。これは関係者個々の働きもさることながら、大学

の組織づくりという地道な作業を、コロナ禍の始まる前から手掛けてきた成果ではなかったかと考えています。学生や保護者の方々の不安の声、社会全体で決定される制限や、地域の要請といった諸要素に対応しつつ、何より教育の機会を確保すること。そうした難問に対して、皆で知恵を出しあうことで対応ができました。そのようなことを振り返り、同窓会の皆様と一堂に会し、飲食をともにしながら語り合う場が再開される日を望んでいます。

沖繩大学硬式野球部

第107回九州地区大学野球選手権南部ブロック大会沖繩地区予選リーグ戦で優勝を果たした硬式野球部の大城貴之監督に5月12日、棚原会長から派遣費の贈呈が行われた。棚原会長は「勝ち方を知っているチームで活躍を期待している」と激励の言葉を送った。



5月16日から全国大会出場をかけた熊本県で行われた南部ブロック決勝リーグに県代表として出場。プロスカウト注目の仲地礼亜、県予選ベストナイン賞（投手）の平投手を柱に、第71回全日本大学野球選手権大会への2年連続全国を目指したがプレーオフで敗れた。

沖繩大学新職員紹介（同窓生）



翁長 佑次郎

翁長佑次郎です。沖繩大学法経学部の卒業生です。前職は県内の社会人野球チームに所属していました。学生時代に成長させていただいた母校で働けることを嬉しく思います。自らの経験を活かし、学生や教職員の方々と信頼関係を築き、コミュニケーションを大切に業務に取り組みたいと思います。また、同窓会の一員として先輩方と共に、夢や目標に向かって頑張る後輩達をしつかりと支援していきたいと思



仲松 咲良

いただきました。当初は大学事務にあまり興味はなく、公務員の勉強をしながら働いていましたが、次第に興味が増え、この道へ進むことを決めました。これから学生や教職員の方々のお役に立てるよう、日々、頑張ります。

ます。仲松咲良（なかもつさくよし）です。私は2021年に福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻を卒業しました。私の大学生活は思ったようにいかない時期も多くありましたが、教職員の皆様にその日々を支えていただきました。



金城 光

成長の多い4年間を過ごせたこの母校で、次は学生を支える立場として携われることに、喜びと誇りを感じています。卒業生としても沖繩大学に貢献できるよう頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

法経学部卒業生の金城光です。本学で働くきっかけは、お世話になったゼミの先生からの紹介でした。元々は公務員志望でしたが、現役で合格できず悩んでいたときに先生から紹介して

2021年度
同窓会事業活動報告

1. 役員会開催 (7回)
2. 評議員会開催 (3回)
3. 監査・定期総会文書開催
4. 広報委員会 (6回)
5. 奨学金授与式
在学生への支援
6. 社会福祉士・精神保健福祉士合格者へ祝金贈呈
- ② 宅地建物取引士資格試験合格及び行政書士試験合格者表彰
- ③ 同窓生子息・子女(あるいは配偶者)への入学金一部補助
- ④ 沖大祭への運営補助
- ⑤ 卒業証書作成補助
- ⑥ 沖縄大学支援同志会
家賃等生活支援金授与

事務局より

同窓会事務局は、同窓生に各行事の案内、広報誌等の送付を行っています。転勤等で住所変更された同窓生、またはお知り合いの方は、ハガキか電話、メールでご連絡ください。同窓会ホームページに会報を掲載しています。

☎・Fax 098-832-6560
E-mail dosokai@okinawa-u.ac.jp

2022年度一般会計予算書(案)
2022年4月1日～2023年3月31日

収入の部 (単位:円)			
項目	2022年度予算A	2021年度予算B	増△減 A-B
1. 会費	8,000,000	7,660,000	340,000
2. 事業収入	1,000	1,000	0
3. 雑収入	100	100	0
当期収入合計	(8,001,100)	(7,661,100)	(340,000)
前年度繰越金	4,237,759	3,126,005	1,111,754
収入合計	12,238,859	10,787,105	1,451,754

支出の部 (単位:円)			
項目	2022年度予算A	2021年度予算B	増△減 A-B
1. 事務費	1,536,000	1,436,000	100,000
2. 会議費	830,000	730,000	100,000
3. 事業費	6,500,000	6,815,000	△ 315,000
A 卒業生対象事業	(3,150,000)	(3,850,000)	(△ 700,000)
B 在学生対象事業	(3,150,000)	(2,915,000)	(235,000)
C その他の事業	(200,000)	(200,000)	0
4. 大学への補助金	740,000	740,000	0
5. 記念事業積立	500,000	500,000	0
6. 雑費	100,000	100,000	0
7. 予備費	2,032,859	466,105	1,566,754
支出合計	12,238,859	10,787,105	1,451,754

2021年度一般会計決算書
2021年4月1日～2022年3月31日

収入の部 (単位:円)			
項目	予算額 A	決算額 B	増△減 B-A
1. 会費	7,660,000	7,600,000	△ 60,000
2. 事業収入	1,000	0	△ 1,000
3. 雑収入	100	23	△ 77
当期収入合計	(7,661,100)	(7,600,023)	(△ 61,077)
前年度繰越金	3,126,005	3,126,005	0
収入合計	10,787,105	10,726,028	△ 61,077

支出の部 (単位:円)			
項目	予算額 A	決算額 B	増△減 B-A
1. 事務費	1,436,000	560,803	△ 875,197
2. 会議費	730,000	460,448	△ 269,552
3. 事業費	6,815,000	4,227,018	△ 2,587,982
A 卒業生対象事業	(3,850,000)	(2,607,018)	(△ 1,242,982)
B 在学生対象事業	(2,915,000)	(1,610,000)	(△ 1,305,000)
C その他の事業	(50,000)	(10,000)	△ 40,000
4. 大学への補助金	740,000	740,000	0
5. 記念事業積立	500,000	500,000	0
6. 雑費	100,000	0	△ 100,000
7. 予備費	466,105	0	△ 466,105
当期支出合計	10,787,105	6,488,269	△ 4,298,836
次年度繰越金	0	4,237,759	

2021年度特別会計決算書
沖縄大学同窓会創立60周年記念事業積立金
2021年4月1日～2022年3月31日

収入の部 (単位:円)		
項目	決算額	備考
1. 前年度繰越金	1,000,008	2019年度開始
2. 特別積立金	500,000	一般会計より
3. 雑収入	9	利息
収入の合計	1,500,017	

支出の部 (単位:円)		
項目	決算額	備考
1. 次年度繰越金	1,500,017	
支出の合計	1,500,017	

2022年度
事業計画

1. スポーツ大会の開催
同窓会奨学金の交付
在学生・卒業生の人材育成のため、奨学金を給付
2. 「同窓会報」発行年2回(6月・1月予定)
3. 各支部(宮古・八重山・関東・久米島・台湾)活動支援
4. 北部支部及び関西支部結成を目指す
5. 部会への活動支援
同窓会創立60周年記念事業積立継続
6. 在学生への支援事業
在学生の学習と各種活動のため次の支援を行う
7. 同窓生子息・子女(あるいは配偶者)への入学金一部補助
8. 資格取得支援補助
9. 就職活動への補助
10. サークル県外派遣費補助
11. 大学祭運営補助
12. 卒業証書ホルダー費用補助
13. 卒業パーティー運営補助
14. 児童福祉特別奨学金授与
15. その他支援活動補助

支部長・部会長「挨拶及び活動計画

関東支部長 仲宗根政則

新型コロナウイルスの影響で、2021年度の支部行事が殆ど実施できない状況でした。人口の多い首都圏にある関東支部の支部活動再開を考慮中です。今年の支部総会はリアル開催をしまし、支部会員の皆さんとは、SNSやメールを通じて接点を切らさないようにしてまいります。

2022年度活動計画重点方針

- 1. コロナ禍における支部活動の再開
2. 支部行事の開催を通じ

久米島支部長 宇江城久人



新型コロナウイルスによる影響で大変な状況がまたまた続いている中、久米島支部においては昨年度の活動は中止が相次ぎ、思うような活動が出来ませんでした。

今年度は我々の目的でもある支部の親睦や人と人との繋がりを大切に一歩踏

て参加メンバーの懇親を深めると共に、新規参加メンバーの拡大
3. 関東在住の大学OB・OGへ関東支部の認知度向上(同窓会本部と連携しての卒業生との接点づくり、SNSやメール等での連絡及び発信など)

活動計画

- 1. 2022年度関東支部総会(5月29日)
2. 支部役員会
3. 関東支部忘年会又は新年会
4. 関東エリアで就活する大学3年生と大学OB・O

み出して行事等を進めて参ります。また、今年度は卒業生が島に戻り社会人としてスタートします。支部の新メンバーとして繋がりを保持していきたいと思えます。

【22年度支部活動】

- (案)▽5月・定期総会・懇親会▽8月・保護者懇談会・父母交流会▽12月・役員会▽1月・新年会・パークゴルフ大会▽3月・卒業式▽4月・入学式

〈久米島支部役員〉

支部長・宇江城久人▽副支部長・吉永博之、津波瞬▽

Gとの交流会 2022年度役員

支部長・仲宗根政則
事務局長・阿波根昌吾
監査・高山朝宜
顧問・新城将孝



会計・平良隆平▽事務局・大城学



支部役員の方皆さん

宮古支部長 下地一美

【沖縄大学同窓会宮古支部重点目標】
「同窓生のネットワークを拡充し冠奨学制度の周知に努める」

【2021年度活動報告】

役員会▽日時…2021年12月22日(火)、場所…どうとんぼり、参加者…5名
※その他の事業はコロナ禍で中止となりました。

▲主な活動紹介▼

- 1. グラウンドゴルフを楽しんだ後、定期総会を袖山ガーデンにて5月頃開催しています。内容は事業報告、決算報告、予算、事業計画についての審議です。

八重山支部長 鳩間真英



八重山支部は2000年に結成され、今年で23年をむかえます。結成当初は市役所職員等多数参加し、

「活動が活発で、活動の様子がたびたび地元新聞に載るほどだった」と先輩の方々からよく聞きます。会員が高齢化し、新規加入者

- 2. 役員会は必要に応じて臨時です。
3. 沖縄大学同窓会定期総会参加。
4. 沖縄大学保護者懇談会に参加して学長、教授、後援会の方々と交流会を開催しています。

5. 冠奨学金の依頼。

- 6. 沖縄大学入試推薦枠の依頼。
7. 忘年会、新年会の開催
8. 卒業式、入学式への参加
9. その他沖縄大学関連行事に関する協力等、宮古在住の同窓生の皆さん、沖縄大学同窓会宮古支部にご入会、ご参加ください。お待ちしております。

がほとんどなく停滞気味ですが、やれる範囲で精一杯頑張りたいと思っています。
私たち八重山支部も昨年度コロナのため活動が何度も遅延、中止が相次いで大変でしたが、今年役員全員が留任し昨年度分まで頑張りたいと思います。

支部発足以来、連綿と活動の中心柱としているグラウンドゴルフで親睦を深めていきたいと思えます。以下、今年度の活動計画を紹介いたします。

▽5月6日(金)第1

▲支部役員紹介▼

支部長・下地一美
副支部長・下地尚登
副支部長・藤本明一
幹事・喜友名朝則
事務局・下地信広



回グラウンドゴルフ大会。
2022年度支部定期総会▽6月・沖縄大学同窓会定期総会▽8月・第1回役員会▽9月・沖縄大学保護者懇談会▽9月・第2回グラウンドゴルフ大会▽12月・第3回グラウンドゴルフ大会

【2023年】▽2月・

第4回グラウンドゴルフ大会▽3月・役員会▽3月・会計監査



女性部会

部会長 熊谷フサ子



4月、学内への坂を上ると一面に白ツメクサ。健康栄養学科の学生たちが記念植樹した百合があちこちに咲き、構内は春に満ちています。部会長を引き受け4年目、初年度からのメンバーは和気あいあいの女性部会です。願わくば新し

い会員を待ち望むばかりの新年度です。

前年度の活動報告

1. 「朗読会」・棚原勝也同窓会会長による『山月記』。素晴らしい声での朗読は、女性部会だけでは「もったいない」ことでした。
2. 前田舟子先生による「琉球史」勉強会 全2回。琉球史の勉強は常に新しい発見がありました。
3. 琉舞で健康づくり 全4回。同窓会会員の金城フサ子先生のご指導の下、

4. 会員交流会 1回
5. 評議員会の皆様へコロナ感染防止（激励の意を込めて）

新年度事業計画

新学長の山代寛先生は合唱が趣味とのこと。コロナ禍が収まり、青年部会とコラボで「同窓会コーラス部」を設立したいですね。他、前年度と同様の活動を会員皆様のご意見を伺いながら進める予定です。

青年部会

部会長 島袋 格

青年部会は50歳以下の会員ネットワークの拡充や部会員の増員を目的とし、沖縄大学同窓会行事のサポートも行っていきます。

コロナ禍も落ち着いてきたところで、青年部会では毎年恒例の観月会も開催できました。本年度は九州を制し全国大会出場をはたした現役の野球部メンバーを招待し、祝勝会も兼ねて開催しました。現在は30く

40代の部会員によって構成されている青年部会ですが、将来はさらに若い人に運営して貰いたいと考えています。

交流を深めることで、部会の活動活性化をはかっています。交流の機会を広く展開し、若い世代に沖縄大学同窓会の活動に興味をもっていただきたいと願っています。

次年度も現役学生との交流の機会を広く展開し、若き世代に沖縄大学同窓会の活動に興味をもっていただきたいと願っています。バスケットボール部も九州でリーグ昇格をはたしました。文化部のなかには賀詞交歓会で余興を担当する学生もおられます。こういった現役学生の活躍を応援し



沖縄大学支援同志会

会長 新垣 淑典



2022年設立から5年目を迎えます。この支援同志会は沖縄大学同窓会の有志を中心に設立されました。在学生の皆さんが学業に専念できるよう、少しでもその生活の支援をしようと思ひ結成されました。さらに県内外の個人の

方々、企業にも会員になって頂き、そのご芳志を現在は主に県内離島出身の在学生の家賃補助という形で支援しています。

過年度の実績は累計で45名の離島出身者に家賃補助を行なえました。

しかし我々支援同志会は力不足です。ぜひこれを読んだ方々の中から、もしくは所属される企業の中で声を出して頂けると有難いです。個人会員、法人会員ともに一人でも一社でも多くの仲間を求めています。つきましては同窓会の皆様にも改めて支援同志会

へのお力添えをお願いして、活動報告並びにご挨拶いたします。



沖縄大学同窓会関西支部 設立準備委員会

委員長 具志堅毅



NHK朝ドラ「ちむどんどん」が始まり、沖縄の食文化が再び脚光を浴びそう

な今日この頃、関西在住の同窓の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

戦後の激動、世替わりを経て沖縄は復帰50年。時

は経ち、沖縄の情報発信力は各段に高まりました。ここ関西の地で生活基盤を築く先輩、後輩の皆さん、「いちやりばちよーでー」精神を発揮し、ボケとつっこみも「まくとうそーねー、なんくるないさ」と踏ん張っていることでしょうか。

記憶に残る沖大時代。学友や在りし日の師に思い馳せ、時に三線の音色を聴きながら「あんやたん、かんやたん」「ほんまでっか」とゆんたくしませんか。同窓会関西支部を立ち上げる



人物シリーズ
活躍する
同窓生 ②

竹富町立大原中学校
第18代校長

石原 昌英さん

1991年法経学部卒



現在のお仕事は？

2021年から西表島
東部にある竹富町立大原中
学校に勤務しています。

本校では豊かな自然を
活かし、今年度より文部科
学省から教育課程特例校と
して指定を受け「結ぬ海科」
を新設し総合学習をはじめ
各領域で教科横断的な「海
洋教育」を推進しています。
「海洋教育」では「海の自
然や文化と人との共生に向

けた人材育成」を目指して
います。

沖縄大学入学のきっかけは？

父が沖大の職員だった
こともあり幼少の頃から職
場（沖大）に連れられ、図
書館や講義棟で学ぶ大学生
の姿に憧れたことや、職員
互助会のスポーツレクや大
学行事などで沖大を身近に
感じ、自ずと進学を決めて
いました。ちなみに姉と弟
も沖大出身で教員等として
学校教育に携わっています。

在学中の思い出は？

沖縄水産高校から入学
した私は、1年生の途中ま
でトレードマークのパンチ
パーマで決め、髪の色も
に時間をかけ通学していた
のを覚えています。周りの
学生との違和感から髪型や
派手なヤンキー服装から大
学生らしい風貌に変わり、
徐々に勉学に励むように
なっていました。

大学生活を有意義に楽
しく過ごすため影響を受け
たのが現同窓会長の棚原勝
也先輩です。公私ともに大
変お世話になりました。沖
大祭では沖縄大学が存続す

るための歴史（統合問題）
や戦後沖縄（基地問題）等
について調べ、沖大と平和
をテーマにした創作劇を演
じたことは青春の思い出と
して鮮明に残っています。

卒業後の進路について

1980年代後半から
90年代前半にかけて日本国
内では好景気が続き、株式
や不動産の価格が高騰し世
の中はバブル経済の煽りで
民間企業は花盛りでした。
私は大阪に本社がある大手
不動産会社に就職し、バブ
ル経済の恩恵を受けながら
本土生活を満喫してしまし
たが、膨れ上がったバブル
経済が次第に萎み出したタ
イミングを見計らい途中退
社を選びました。

沖縄にUターンしてか
ら夢であった教職免許を取
得するため再び沖縄大学に
戻り、昼は図書館やL.L教
室でアルバイトをしながら
夜間の科目履修生として学
び、中高の社会科教諭免許
を取得し3回目の教員採用
試験で合格を果たしました。

那覇市内の中学校に採
用されてから5年目に教師
として力量不足を痛切に感
じたため、現職教職員大学

院派遣制度に挑戦し、国立
兵庫教育大学大学院修士課
程で2年間、実践的な学び
を深められました。大学院
進学に伴い、同窓会から奨
学金をいただき研究費用に
充てることができました。こ
れに対しても感謝しておりま
す。

沖縄大学への期待と在
校生へのメッセージを

ここ数年間、沖縄大学
における教員採用試験合格
率が県内大学でNo.1の輝か
しい実績に触れるたびに教
育関係者として何とも言え
ぬ喜びを感じています。教
職支援センターによるサ
ポート体制の充実をはじめ
教職課程の素晴らしい講師
陣、そして先輩諸氏からの
情報提供やアドバイスがNo
1の輝かしい実績に直結し
ていると実感しています。

何よりも本人の並々ならぬ
努力、また努力、そして努
力があつたればこそです。
最後に、沖縄大学の理
営に取り組んでいます。

念である「地域共創・未来
共創の大学」で学ぶ在学生
の皆さん、県都那覇市にあ
る唯一の大学です。キー
ワードの地域の強みを活か
してください。

ウィズコロナだからこ
そ「今できる」ことを着実
に進め、夢実現のため頑
張ってください！ 沖縄大
学出身者と、どこかの学校
で何時か一緒に働ける日を
夢見てメッセージに代えま
す。「夢中・熱中・勉強中」
頑張れ沖大生！ ファイト
沖大生！



人物シリーズ
活躍する
同窓生 ②②

宮古民謡教師
琉球古典音楽野村流保存会教師

清村 斉さん

1995年法経学部卒



を主宰し、これまで100人以上に三線を指導してきた。

自然が豊かな多良間島で生まれた。国指定重要無形民俗文化財「八月踊り(多良間の豊年祭り)」で有名な島だ。獅子舞や組踊など多彩な伝統芸能が住民によって披露される島の一大行事を間近で見育った。

空手を始めたのは、全国大会で活躍する島の先輩に触発されたからだ。高校は空手形で世界選手権3連覇した佐久本嗣男先生が指導する浦添高校へ進学。「努力に勝るものはない」と師匠に教えられ、先輩後輩と切磋琢磨しながら空手に打ち込んだ。世界空手選手権団体形で優勝した豊見城あずささんは同門で同郷の後輩だ。

三線を弾き、空手は劉衛流龍鳳会四段の実力。東京五輪で空手形金メダルの喜友名諒さんを指導した佐久本嗣男氏は空手の師匠。その指導もあつて高校、大学と全国大会で活躍した。父親の影響で三線を始め、三線職人を経て2009年、大阪へ移住。大阪市内で「三線工房きよむら」を立ち上げた。大阪市内で三線教室

に輝いた。ともに稽古に汗を流した先輩後輩は今でも心の支えだ。

大学2年の1992年、県の復帰20周年事業「中国大陸3000キロ踏査行」に参加した。かつて琉球の進貢使節が五百年近くにわたつて往来し、多くの技術や産業、さまざまな文化を持ち帰った「歴史の道」。その足跡を現代の若者が体現してもらう企画に学生や社会人107人が挑戦した。全行程60日のうち、14日間、先人が辿つた道を歩き、悠久の歴史をもつ中国の壮大さを実感し、大交易時代を築いた先人に思いを馳せた。踏査行では行く先々で得意の空手を披露し、喝さいを浴びた。

貴重な経験は中国への関心をさらに深め、大学4年の秋、当時沖大が提携する



る北京民族学院に半年間留学。少数民族の学生と交流しながら中国語を磨いた。卒業後は2年間の高校での臨時教員を経て、先輩の誘いで再び中国へ。雲南省昆明の日本料理店で板前として3年働き2000年に帰国。三線を製作する新城工

作所に就職し、三線づくりの技術を習得した。北京の留学時代に出会つた妻と結婚し、2009年、大阪市西淀川に移住。そこで三線工房を開業し販売から修理まで請け負っている。

三線を本格的に習つたのは24歳のとき。島で島唄の名手として知られた父親が素潜り漁の影響で耳が悪くなり、好きな三線を弾かなくなつたと聞いたからだ。父親を喜ばせようと島の先輩が教える民謡教室で稽古に励んだ。それが今の仕事に繋がっている。

島を離れて36年。沖縄関連のイベントやライブでは宮古民謡を率先して歌い、空手の形も披露する。舞台では島の民謡「多良

間シユンカニ」、自ら作詞作曲した「わーり美(か)ぎ島(すま)多良間」を多良間言葉(たらまふつ)で情感を込めて歌う。「やはり生まり島(すま)は忘れられない」と八月踊りには毎年帰郷し、組踊など舞台に立つ。いずれは組踊、舞踊の地謡を務めるのが目標だ。

ここ2年余り、コロナ禍で収入が減り、仲間と集えない日が続いたが、県人会の先輩方から声が掛かり、イベントで歌う機会が少しずつ増えている。「人との繋がりで今の自分がある。それが仕事の糧になっている」。支えてくれた周囲への感謝を忘れない。

「手を抜くな」という師匠の教えは、ウミンチュで仕事に厳しかった父親の教えと重なる。

歌三線と空手の「二刀流」で、これまで中国や米

にもその経験を伝え、「多良間愛」をもって「広い視野で行動する」つもりだ。

●きよむら ひとし
1971年生まれ、多良間島出身。大阪府在住。91年沖大入学、95年法経学部卒業。宮古民謡教師、琉球古典音楽野村流保存会の教師。2009年から大阪市内で三線工房を営む傍ら、三線教室を主宰。歌三線奏者として県人会のイベントや沖縄料理店などでライブ活動で沖縄、多良間の魅力を発信しているほか、大阪沖縄県人会青年部として行事の企画や運営などを行う。(聞き手・具志堅毅)

